



ブラジル中銀は年金改革を注視し政策の様子見継続へ

- ブラジル中銀は政策金利の据え置きを決定。上院手続きが完了し次第、ブラジル中銀は新体制に移行する見込み。
- ブラジル中銀は年金改革を注視する姿勢を示す。当面は改革審議を見据え、金融政策は様子見姿勢を継続へ。
- 2月1日に開会した議会では、下院・上院ともに政権寄りの議長を選出。両議長は年金改革の早期承認に前向き。
- 当面は下院での年金改革審議が市場の焦点に。条件付き協力政党との政策協議が年金改革承認のカギを握る。

中銀は年金改革を注視し、様子見姿勢を継続へ

ブラジル中央銀行は2月5-6日の金融政策委員会(COPOM)において、政策金利を7会合連続で6.50%に据え置く決定を下しました(図1)。今回がゴールドファイン総裁のもとでの最後のCOPOMとみられており、上院承認手続きが完了し次第、ブラジル中銀はロベルト・カンポス・ネト次期総裁のもとでの新体制に移行することになります。

COPOM声明文では、引き続き年金改革等の動向を注視する姿勢が示されています。当面のブラジル中銀の金融政策は、議会での改革審議の行方を見据えながら、様子見姿勢が継続されると考えられます。

議会はボルソナロ政権寄りの上下院議長を選出

一方、ブラジル議会は2月1日に開会し、注目された議長選挙では、下院がロドリゴ・マイア氏(DEM)、上院がダビ・アルコルンブレ氏(DEM)と、いずれもボルソナロ政権の協力政党である中道の民主党(DEM)から選出されました。マイア下院議長、アルコルンブレ上院議長とともに年金改革の早期の議会承認に前向きな姿勢を示しています。

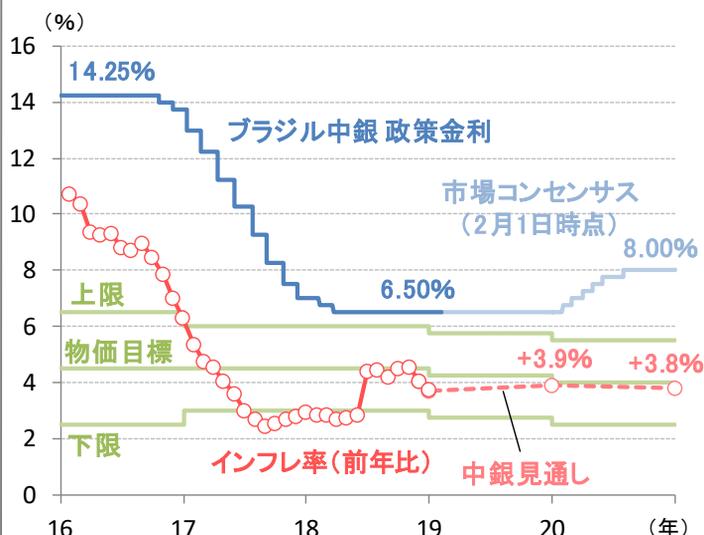
当面は下院での年金改革審議が市場の焦点に

ボルソナロ政権が今後議会に対して提案する年金改革法案の承認には、下院と上院それぞれで60%以上の議員の賛成という高いハードルを越える必要があります。

図2はブラジルの過去の政権と現ボルソナロ政権の下院議会での勢力図を示したものです。当初は議会との協力関係の希薄さが課題とみられていたボルソナロ政権ですが、過去の政権との比較では、第一次ルーラ政権を上回る議会からの支持を受けていることが分かります。

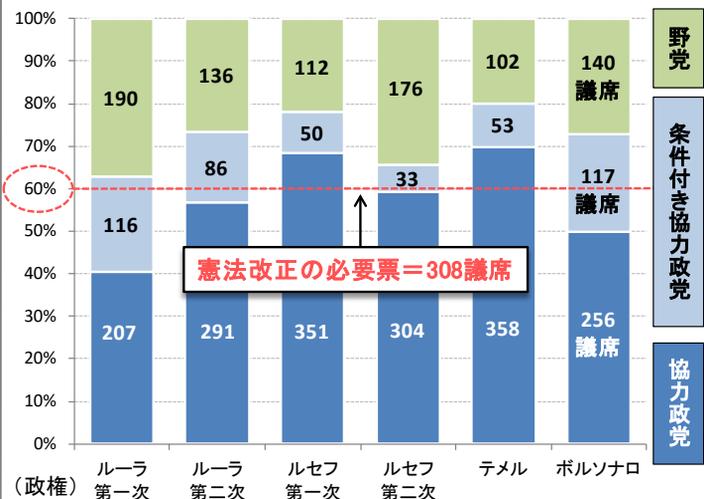
当面の市場の注目は下院議会での年金改革審議に集まります。現在、ボルソナロ政権は256議席を有する「協力政党」から支持を受けており、今後は「条件付き協力政党」との政策協議が改革承認のカギとなりそうです。

図1:ブラジル中銀の政策金利とインフレ率



(出所)ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)
 (期間)政策金利:2016年1月1日~2019年2月6日
 拡大消費者物価指数(IPCA):2016年1月~2018年12月
 (注)ブラジル中銀のインフレ見通し(市場シナリオ)は、政策金利と為替レートの予想前提に市場コンセンサスを使用したもの。

図2:ブラジルの各政権の下院議会での勢力図 (下院定数=513議席)



(出所)ブラジル議会補佐官組合(Diap)

●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。